

2023年11月26日
11月第四主日礼拝式



「わが神わが主よ」

(マタイ 21:9)

あなたは

わが盾(たて) わが歌 わが砦(とりで)
平和のきみ ちからの神 永遠(とわ)の父

わが神 わが主よ

わが神 わが主よ

85 神の国と神の義

神の国と神の義を

まず求めなさい

そうすればみな与えられる

ハレル ハレルヤ

新聖歌206番 「飼い主わが主よ」

1. 飼い主(ぬし)わが主よ まようわれらを
若草の野辺(のべ)に みちびきたまえ
われらを守りて やしないたまえ
われらは主のもの 主に贖(あがな)わる
2. 良き友となりて つねにみちびき
迷わばたずねて 引きかえりませ
われらの祈りを 受け入れたまえ
われらは主のもの ただ主にたよる

新聖歌206番 「飼い主わが主よ」

3. ゆるしの御誓(みちか)い 救いの恵み
聖(きよ)むるちからは みな主にぞある
われらを贖(あがな)い いのちを賜(たも)う
われらは主のもの 主にありて生(い)く
4. み慈(いつく)しみをば われらに満たし
今よりみむねを なさしめたまえ
われらをあわれむ み恵み深し
われらは主のもの 主をのみ愛す

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌111番 「 生くる甲斐(かい)もなしと 」

1 生くる甲斐(かい)もなしと独り 定めたりし者を
死をも賭(と)して救いませる 深きイエスの愛よ

* 十字架 十字架 そこに君は つきて死にたまえり
十字架 十字架 そこにわれの罪も 共に死せり

2 罪をそこにつけし今は いかで罪に問われん
神にありて 常にきよく 生くる身にしあれば

* (くりかえし)

3 君の御手に支えられて 道を歩むわれに
御名をほむる たたえ歌の 絶ゆる時はあらし

* (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン